

○堺市とトヨタ自動車による共同実証実験

～新たなシステム構築に関する取組～

○近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練

○堺市とトヨタ自動車による共同実証実験

～新たなシステム構築に関する取組～

消防指令センター

通報情報だけでは事故・火災現場の状況把握が不十分

道路状況？

詳細な地点？

負傷者数？

渋滞等による
出場経路の変更

現場到着後に
発生場所を特定

消防・救急隊
の追加出場

詳細・正確な状況把握が重要

新たなシステムを用いた共同実証実験



堺市消防局 × TOYOTA

期間

令和5年10月25日～令和6年8月

エリア

堺市消防局管内（堺市・高石市・大阪狭山市）

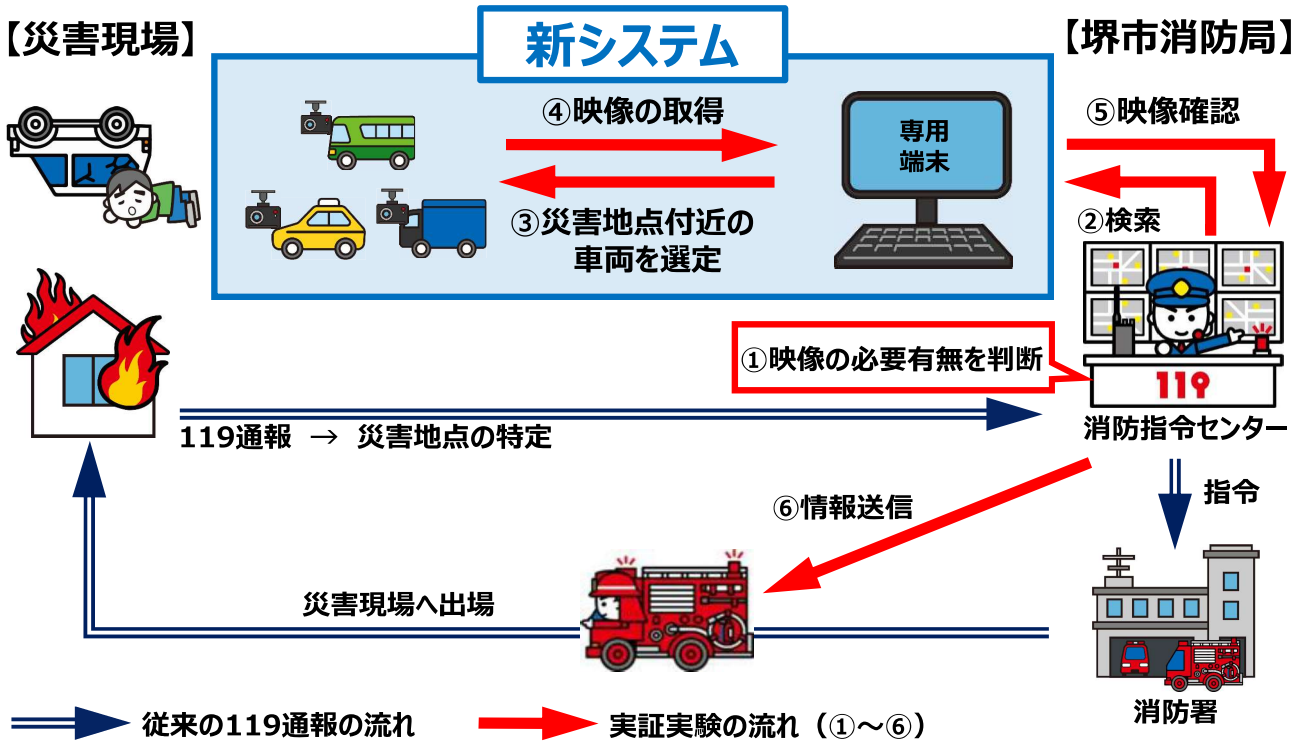
内容

バス・タクシーなど約400台に専用レコーダーを装着
事故・火災発生時の映像データを活用

協力

JVCケンウッド、南海バス、ユタカ中央交通、3D、
泉海商運、サザントランスポートサービス、セカンド、
物流システム、トヨタ南海グループ

現場付近の車両のドラレコ映像を活用



ドライブレコーダーの映像(イメージ)

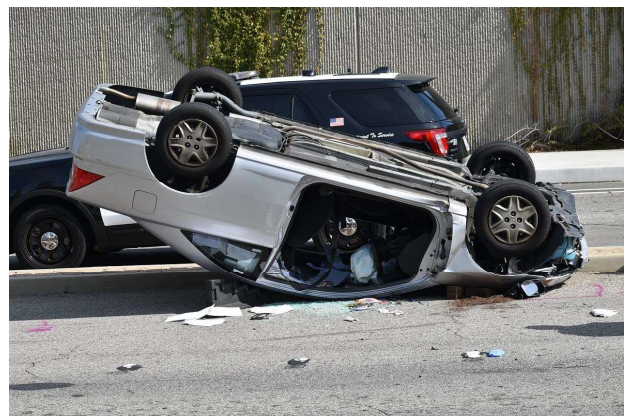


事故による交通渋滞が発生

迅速に現場へ向かうため
適切な経路を選定

事故の程度を把握

消防隊・救急隊に加え、救助
隊やドクターカーを手配



場所・災害状況（負傷者数、火災状況等）
周辺道路状況等を**詳細・正確に把握**

消防隊等の出場隊数を迅速・適切に決定

災害現場へ至る適切な経路を選定

活動方針の変更など迅速に対応

被害を最小限に抑え、市民の安全安心を確保する

10月17日市長定例記者会見

○近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練

日時 11月3日（金・祝）午前9時30分～11時30分

場所 堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点

参加 内閣府、自衛隊、大阪府、堺市など48機関

内容 救出・救護訓練、物資輸送訓練、ライフライン復旧訓練、コンビナート火災消火訓練など



救出訓練



救護訓練



物資輸送訓練